



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和4年7月第3回市長定例記者会見

・日時 令和4年7月19日(火)
午後1時
・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 内閣総理大臣杯 第64回全国空手道選手権大会で入賞した選手が市長を表敬訪問します（資料1）
- 2 地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業の採択を受けました（資料2）
- 3 令和4年度 一般会計補正予算（第5号）のフレーム（令和4年7月14日市長専決処分）（資料3）
- 4 7月15日夜の大雨による被害状況をお知らせします（資料4）
- 5 迅速な避難所開設並びに避難生活環境向上に向けた訓練を実施します（資料5）
- 6 子ども発達相談室における支援実績をお知らせします（資料6）

○次回開催予定

日時：令和4年7月25日(月)午後1時～
場所：本庁舎記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時 間	件 名	場 所	所 管
7月18日(月)				
7月19日(火)	7:15 夏の県民交通安全運動に伴う車両広報 9:00 庁議		小野上地区 庁議室	市民協働推進課 秘書室
	13:00 市長定例記者会見 14:30 第23回政策戦略会議		記者会見室 庁議室	秘書室 秘書室
7月20日(水)	7:15 夏の県民交通安全運動に伴う車両広報 14:00 令和4年度第1回渋川市空家等対策協議会 16:30 第24回政策戦略会議		渋川地区 第二庁舎201会議室 庁議室	市民協働推進課 政策創造課 秘書室
7月21日(木)	13:30 令和4年度第1回渋川市の国民健康保険事業の運営に関する協議会 16:00 第25回政策戦略会議		大会議室 庁議室	保険年金課 秘書室
7月22日(金)				
7月23日(土)	9:30 群馬県トラック協会渋川支部交通・労災事故防止総決起大会		北毛研修センター	市民協働推進課
7月24日(日)				
7月25日(月)	8:50 広域組合退職者辞令交付式 9:00 庁議		市長室 庁議室	広域組合 秘書室
	13:00 (株)北関スクリーンとのドローンを活用した包括連携協定調印式 終了後 市長定例記者会見 16:00 第26回政策戦略会議		記者会見室 記者会見室 庁議室	政策創造課 秘書室 秘書室

資料1

内閣総理大臣杯 第64回全国空手道選手権大会で入賞した選手が市長を表敬訪問します

令和4年7月9日(土)～10日(日)に、東京都調布市で行われた「内閣総理大臣杯 第64回全国空手道選手権大会」において、渋川市出場者が素晴らしい成績を収めました。今大会で入賞した、福原秀樹選手、今井絢香選手の2名が、7月19日(火)に市長を表敬訪問します。

1 表敬訪問日 令和4年7月19日(火) 午後1時

2 場 所 渋川市役所本庁舎2階 記者会見室

3 訪 問 者 福原 秀樹(ふくはら ひでき)選手
今井 絢香(いまい あやか)選手

4 大会概要

- (1) 大会名 内閣総理大臣杯 第64回全国空手道選手権大会
- (2) 主 催 公益社団法人日本空手協会(内閣府認定団体、通称JKA)
- (3) 大会会場 東京都調布市「武蔵野の森総合スポーツプラザ」
- (4) 出場者(市内在住者)

区分	選手氏名(敬称略)
個人戦 一般男子形の部	福原 秀樹
一般団体の部 組手の部	
個人戦 一般女子組手の部	今井 絢香
女子団体の部 組手の部	
女子団体の部 形の部	
都道府県団体の部 組手の部	
一般団体の部 組手の部	行方 晃弘
一般団体の部 形の部	
一般団体の部 組手の部	飯塚 慎平
一般団体の部 形の部	
一般団体の部 組手の部	大嶋 紀義
一般団体の部 形の部	小川 大
一般団体の部 形の部	金子 純大
女子団体の部 組手の部	奥山 美和
女子団体の部 形の部	
女子団体の部 組手の部	中村 紗菜
個人戦高校生男子の部 組手の部	
個人戦高校生男子の部 形の部	新木 瑛斗

(5) 成績（市内在住者）

区分	選手氏名（敬称略）
個人戦 一般男子形の部 第5位	福原 秀樹
都道府県団体の部 組手の部 優勝	群馬県 (今井 紗香 ほか2名)
女子団体の部 形の部 第7位	渋川空友館 (今井 紗香 ほか2名)
一般団体の部 形の部 第7位	渋川空友館 (行方 晃弘、飯塚 慎平、 小川 大)

参考

過去の主な成績

今回優勝した区分「都道府県団体の部 組手の部」は、平成27年第58回大会以来7大会ぶりです。（令和2年は大会中止）

このほか、今回第7位の区分「一般団体の部 形の部」では、平成2年第33回大会から平成7年第38回大会の間、渋川空友館が6連覇しています。この区分での6連覇という記録は破られていません。

■問い合わせ先

スポーツ健康部長 角田 義孝（内線1150）

担当：スポーツ課（電話0279-22-2241）

課長 狩野 真洋（内線4957）

スポーツ振興係 町田 琴美（内線4959）

資料2

地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業の採択を受けました

観光庁補助事業「地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業」について、第2回地域計画審査が行われ、渋川市の作成した地域計画が7月15日付で採択となりました。

これに基づき渋川市は、「440年の歴史が紡ぐ温泉情緒」の継続・強化をコンセプトに、①地域一体となった景観美化（統一感のある外観改修）の推進、②宿泊者の満足度を高める高付加価値化改修の推進、③温泉街を中心とした地域の回遊性・滞在時間の増加を図る観光施設の改修の推進、に取り組みます。

なお、本地域計画は、渋川伊香保温泉観光協会及び伊香保温泉旅館協同組合の協力を得たほか、国の伴走支援を受け策定しました。

この事業は、6月に全国で8カ所が第1回審査で採択となり、今回第2回審査で新たに52カ所が採択となりました。

1 地域計画概要

伊香保温泉街を中心とした地域が一体となった景観の美化（統一感のある外観改修）を図るとともに、客単価の底上げを図る客室の高付加価値化改修を促すことにより、「440年の歴史が紡ぐ温泉情緒」を継続して推進し、伊香保温泉の回遊性・滞在時間の増加、各事業者の収益改善、ひいては本市の重要な産業である観光関係者の待遇向上につなげていくものです。

2 対象地域・対象者

- ・対象地域：伊香保温泉街を中心とした地域
- ・対象者：対象地域で営業する渋川伊香保温泉観光協会員及び伊香保温泉旅館協同組合員

3 参加事業者数／事業総額・補助総額

- ・参加事業者数：43件（重複3件含む）47事業
- ・事業総額：29億7,627万円（予定）
- ・補助総額：14億7,496万円（予定）

（額単位：千円）

	宿泊事業者				観光施設				合計			
	件数	事業数	事業総額	補助総額	件数	事業数	事業総額	補助総額	件数	事業数	事業総額	補助総額
施設改修 (高付加価値化)	25	29	2,743,436	1,365,052	13	13	109,477	48,232	38	42	2,852,913	1,413,284
廃屋撤去	3	3	102,500	51,250	2	2	20,865	10,433	5	5	123,365	61,683
合計	28	32	2,845,936	1,416,302	15	15	130,342	58,665	43	47	2,976,278	1,474,967

※宿泊事業者の廃屋撤去事業者は、施設改修事業者と重複事業者

4 目 標

項目	2020年実績	2025年目標
年間宿泊者数	67万人	115万人
宿泊施設平均稼働率	35%	70%
観光消費額	83.3億円	151.6億円

5 今後のスケジュール

- ・7月中旬～8月中旬：個別事業者（旅館・観光施設）による補助金交付申請
- ・8月中旬～9月中旬：補助金交付決定、事業着工
- ・～令和5年2月末日：事業完了

6 県内採択状況

県内の自治体において、同事業の採択を受けているのは、みなかみ町（6月）、中之条町（7月）、草津町（7月）です。

7 観光庁事業制度概要

「地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業」

長引く新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた観光地がポストコロナの反転攻勢につなげるため、地域一体となって取り組む高付加価値化等を支援する事業で、地域計画づくりから宿泊施設の改修等に至るまで、地域の魅力と稼ぐ力を高める面的な取り組みを支援するものです。

自治体や複数の民間事業者・団体（5者以上）が対象で、計画対象地域において合意形成を図るとともに、「候補地域」として採択される必要があります。

地域計画が採択されると、以下の補助対象事業に取り組むことができます。

- ①宿泊施設の高付加価値化改修：補助上限額1億円（補助率2分の1又は3分の2）
- ②観光施設の改修：補助上限額500万円（補助率2分の1）
- ③廃屋の撤去：補助上限額1億円（補助率3分の1）

その他、④公的施設の観光目的での利活用のための民間活力の導入、⑤交通関係事業、⑥実証実験があります。

参考

渋川市は、令和3年度に観光庁「既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業」の採択を受け、廃屋撤去等による石段街の景観改善と個人旅行ニーズへの適合を目指し、石段街を中心とした宿泊施設及び観光施設29事業者による総事業費6億3,861万1,880円、補助総額2億6,747万5,000円の事業に取り組みました。

■問い合わせ先

産業観光部 部長 金井 裕昭（内線4899）

担当：観光課（電話0279-22-2873）

課長 関口 礼二（内線4880）

観光振興係長 荒木 信彦（内線4881）

「地域一体となつた観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業」第2回審査会 採択案件

■採択案件一覧

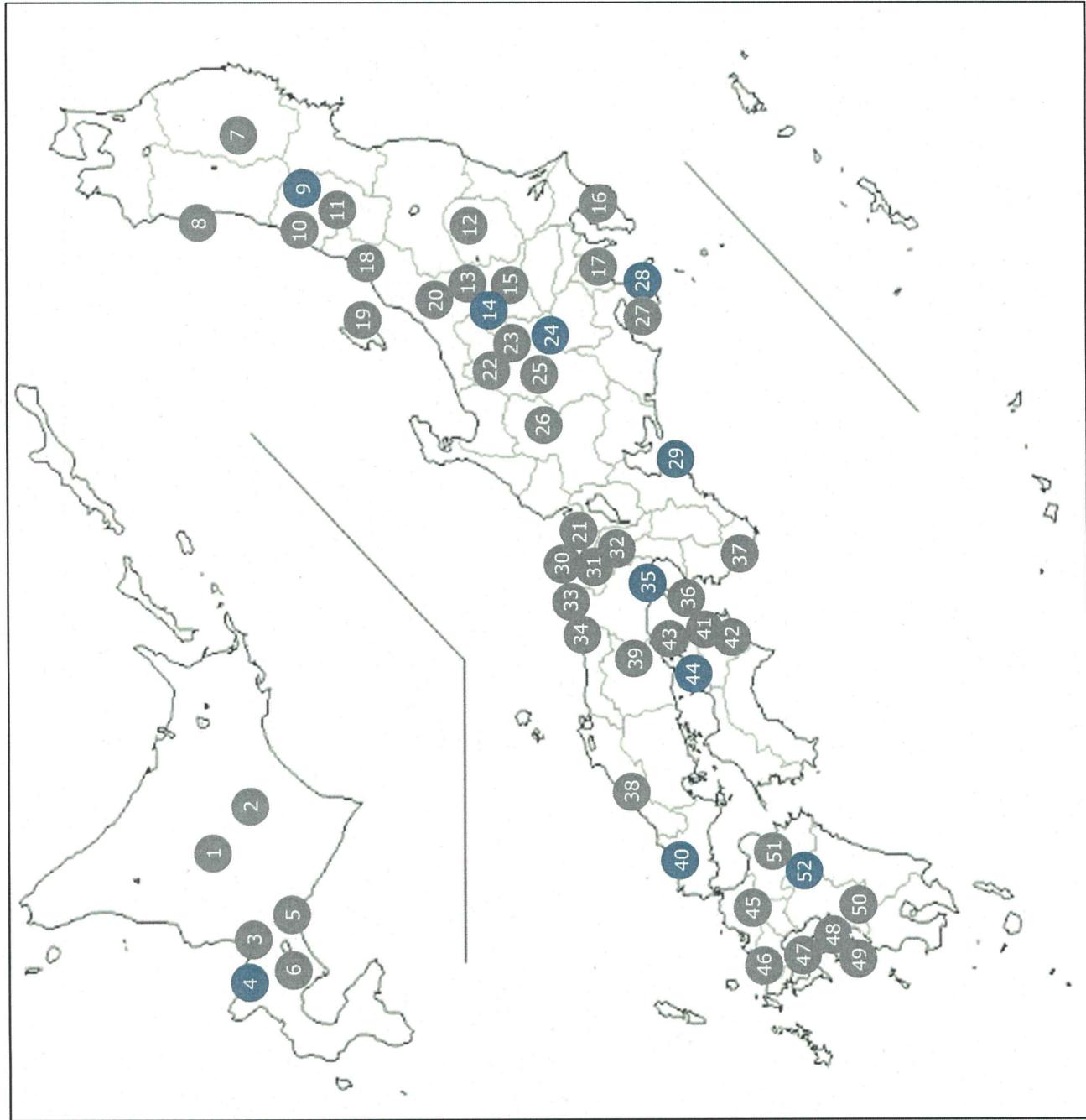
マップ番号	団体名	所在地	計画地域
1	「美しい」のその先へ。WA！がまち、ふらの Project2022 実行委員会	北海道	富良野市街地
2	十勝川温泉旅館協同組合	北海道	十勝川温泉
3	一般社団法人定山渓観光協会	北海道	定山渓温泉
4	小樽市	北海道	小樽運河周辺エリア及び朝里川温泉
5	千歳市	北海道	千歳市街地
6	一般社団法人洞爺湖温泉観光協会	北海道	洞爺湖温泉
7	花巻市	岩手県	花巻温泉郷
8	秋田県男鹿市	秋田県	男鹿温泉郷及び男鹿北部地域
9	銀山温泉組合	山形県	銀山温泉
10	湯野浜100年株式会社	山形県	湯野浜温泉
11	かみのやま温泉旅館組合	山形県	かみのやま温泉
12	那須町	栃木県	那須温泉郷周辺地域
13	中之条町	群馬県	四万温泉
14	一般社団法人草津温泉観光協会	群馬県	草津温泉
15	渋川市	群馬県	伊香保温泉
16	株式会社わくわくカンパニーダ多喜（DMO）	千葉県	養老渓谷
17	箱根温泉旅館ホテル協同組合	神奈川県	箱根温泉
18	一般社団法人新発田市観光協会	新潟県	月岡温泉
19	一般社団法人佐渡觀光交流機構	新潟県	佐渡島
20	一般社団法人雪国観光圏	新潟県	湯沢町工リア雪国観光圏 雪国観光圏
21	株式会社まちづくり小浜	福井県	小浜市街地
22	小谷村	長野県	小谷村エリア
23	立科町	長野県	立科町
24	一般社団法人諏訪觀光協会	長野県	諏訪市街地
25	WAKUWAKU浅間温泉	長野県	浅間温泉
26	飛驒高山旅館ホテル協同組合	岐阜県	飛驒高山

■採択案件一覧

マップ番号	団体名	所在地	計画地域
27	(土肥温泉) 一般社団法人伊豆市産業振興協議会	静岡県	土肥温泉
28	(修善寺温泉) 一般社団法人伊豆市産業振興協議会	静岡県	修善寺温泉
29	鳥羽市	三重県	鳥羽市全域
30	宮津市	京都府	宮津天橋立温泉郷
31	舞鶴市	京都府	舞鶴市街地
32	龜岡市	京都府	湯の花温泉～JR龜岡駅北側エリア
33	京丹後市	京都府	京丹後市
34	新温泉町	兵庫県	湯村温泉・浜坂温泉郷
35	一般財団法人 神戸観光局	兵庫県	有馬温泉及びウォーターフロントエリア
36	一般社団法人 淡路島観光協会	兵庫県	淡路島全域
37	和歌山県白浜町	和歌山県	白浜温泉
38	島根県江津市	島根県	有福温泉
39	岡山県美作市	岡山県	湯郷温泉
40	萩市観光協会	山口県	「萩城下町」エリア等
41	イーストとくしま観光推進機構（鳴門PJ）	徳島県	徳島県鳴門エリア
42	イーストとくしま観光推進機構（徳島PJ）	徳島県	徳島県徳島中心市街地エリア
43	小豆島観光再活性化会議	香川県	小豆島
44	琴平町観光活性化協議会	香川県	琴平町エリア
45	原鶴温泉旅館協同組合	福岡県	福岡県原鶴温泉・筑後川温泉及び筑後川中流域周辺
46	唐津市	佐賀県	呼子周辺エリア
47	太良町竹崎かに旅館組合	佐賀県	たら竹崎温泉
48	雲仙市	長崎県	雲仙温泉・小浜温泉
49	長崎市	長崎県	長崎市街地
50	熊本県人吉市	熊本県	人吉市街地
51	別府市	大分県	別府温泉
52	一般社団法人 由布市まちづくり観光局	大分県	湯布院温泉

「地域一体となつた観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業」第2回審査会 採択案件

■採択案件所在地



資料3

令和4年度 一般会計補正予算（第5号）のフレーム (令和4年7月14日市長専決処分)

(千円)

歳 出	歳 入
<p>1 「しぶかわ観光応援キャンペーン」 期間延長 241,005</p> <p>全国旅行支援の開始の延期に伴う「愛郷ぐんまプロジェクト」の延長に合わせ、利用者への「渋川市ふるさと感謝券」の配布期間を延長</p> <ul style="list-style-type: none">・延長期間 令和4年7月15日～8月31日	<p>1 県支出金 241,005</p> <p>地域観光事業支援補助金</p>
241,005	241,005

補正前予算額 33,926,245千円

補正後予算額 34,167,250千円

■問い合わせ先

総務部 部長 星野 幸也 (内線2100)

担当：財務課 (電話0279-22-2414)

課長 鴻田 吉史 (内線2150)

財政係長 荒井 啓充 (内線2149)

資料4

7月15日夜の大雨による被害状況をお知らせします

令和4年7月15日夜半の豪雨により、市内の広範な箇所に土砂流出、倒木、法面崩壊等の被害が発生しました。その対応を含め、状況をお知らせします。

1 概 要

令和4年7月15日(金)の夕方から夜半にかけて、市内に一部雷を伴う大雨が降りました。これにより、市内の広範な箇所への土砂流出、側溝等の溢水、法面崩落、倒木等の被害が発生しました。現時点における被害の状況と対応についてお知らせします。

2 気象状況等

気象庁は、渋川市に15日(金)午後8時49分に大雨警報を発し、その後16日(土)午前4時51分に大雨警報を解除しています。

渋川市では、この時間帯の最大雨量として69mm/hが観測されています。

3 被害状況（※現時点での暫定数値）

(1) 市道関係（建設交通部関係）

土砂流出=20件

法面崩壊・土砂崩れ=8件

道路損壊等=6件

側溝詰まり等=5件

倒木等=2件

雨水流入=2件

(2) 林道関係（環境森林部関係）

土砂流出=3件

路肩等の崩落=3件

路面洗堀=1件

水路周囲洗堀=1件

倒木=2件

(3) 農道関係（産業観光部関係）

土砂流出=1カ所

法面崩落（畑）=6箇所

法面崩落（畦畔）=2箇所

4 対 応

渋川市は、15日(金)午後9時過ぎに職員を招集し、通報・連絡のあった箇所のうち緊急性の高い箇所、周囲への影響の大きい箇所について対応を行い、パトロールを含めて16日(土)午前2時頃に概ねの作業を完了しました。

また、翌16日(土)午前8時から昨夜のパトロールで判明している箇所及び新たな通報・連絡箇所の対応を開始し、午後7時までに概ねの対応が完了しています。

この後、緊急性や周囲への影響が少なかった箇所の対応を行う予定でいます。

■問い合わせ先

建設交通部 部長 柴崎 憲一（内線4700）

担当：土木維持課（電話0279-22-2502）

課長 木村 博之（内線4760）

危機管理監 真下 彰文（内線2105）

担当：危機管理室（電話0279-22-2130）

室長 中山 久子（内線2180）

危機管理係長 藤井 隆（内線2187）

資料5

迅速な避難所開設並びに避難生活環境向上に向けた訓練を実施します

現行の「避難所開設・運営マニュアル」の有効性を検証するための実動訓練を実施します。これにより検討すべき課題をあぶり出し、より実効性のあるマニュアルの確立を目指します。

1 目的

避難所開設・運営マニュアルの有効性について、実動訓練により検証し、より実効性のあるマニュアルにしていくための検討課題をあぶり出すことを目的とします。

2 訓練概要

避難所開設・運営マニュアルに沿って、派遣された避難所担当職員が自治会と協働で、設営から運営までを実動で行うことで、マニュアルの有効性について検証します。

また、各指定避難所の管理者の方々へ、訓練の視察及び伊香保中学校での避難所設営時のレイアウト作成の体験談を聞いてもらうとともに、意見交換を行い、顔の見える関係づくりを図ります。

3 実施日時 令和4年7月26日(火) 午前9時～正午

4 会場 古巻小学校 体育館

5 内容

- (1) 開会
- (2) あいさつ
- (3) 避難所設営・運営マニュアル検証
 - ・避難所設営訓練
 - ・避難者受入れ・避難所運営訓練
- (4) まとめ
- (5) 閉会

6 対象者(計112人)

- ・初動マニュアル(風水害)による指定避難所担当者
- ・古巻地区自治会
- ・自主防災リーダー会
- ・各指定避難所の管理者

7 主 催 地域の命を守る体制づくり委員会（避難所部会）

8 進 行 係 危機管理室危機管理係

■問い合わせ先

危機管理監 真下 彰文（内線2105）

担当：危機管理室（電話0279-22-2130）

室長 中山 久子（内線2180）

危機管理係長 藤井 隆（内線2187）

資料6

こども発達相談室における支援実績をお知らせします

渋川市は、発達に心配のある18歳未満の子どもの支援および家族支援を行なながら、子どもの成長や発達の状況に合わせて、切れ目のない支援を行うための「渋川市こども発達相談室」を、令和2年7月に渋川ほっとプラザ内に開設しました。

開設後2年が経過し、相談者が増えてきたことから、今年度は心理士の相談を充実させて対応しています。

1 こども発達相談室の役割

子どもの発達に不安を抱える保護者が増える中で、子どもの特性に合わせた対応方法が知りたいなど、分かりやすく継続した相談ができる窓口の設置が求められてきましたから、令和2年7月に渋川ほっとプラザ内に「渋川市こども発達相談室」を開設しました。

「渋川市こども発達相談室」では、発達に心配のある18歳未満の子ども及びその家族に対して相談を行い、個々の状態に応じて、医療機関や福祉サービス、園や学校、保健センター、児童相談所などとの連携を図りながら、子どもの成長や発達の状況に合わせて切れ目のない支援を行っています。

2 事業委託先 特定非営利活動法人 渋川広域障害保健福祉事業者協議会
(渋川広域障害福祉なんでも相談室を運営しているNPO法人)

3 事業開始日 令和2年7月1日(水)

4 場 所 渋川ほっとプラザ 1階

5 対象者 渋川市在住の18歳未満の子どもとその家族

6 業務内容

(1) 電話・来所相談

実施時間：月～金曜日、第3土曜日（国民の祝日、年末年始を除く）

午前9時～午後5時

対応者：常勤職員（保育士・幼稚園教諭、精神保健福祉士、保健師）

(2) 予約による相談

内容：個別相談（予約制・週1回）

対応者：児童精神科医、心理士、言語聴覚士・作業療法士

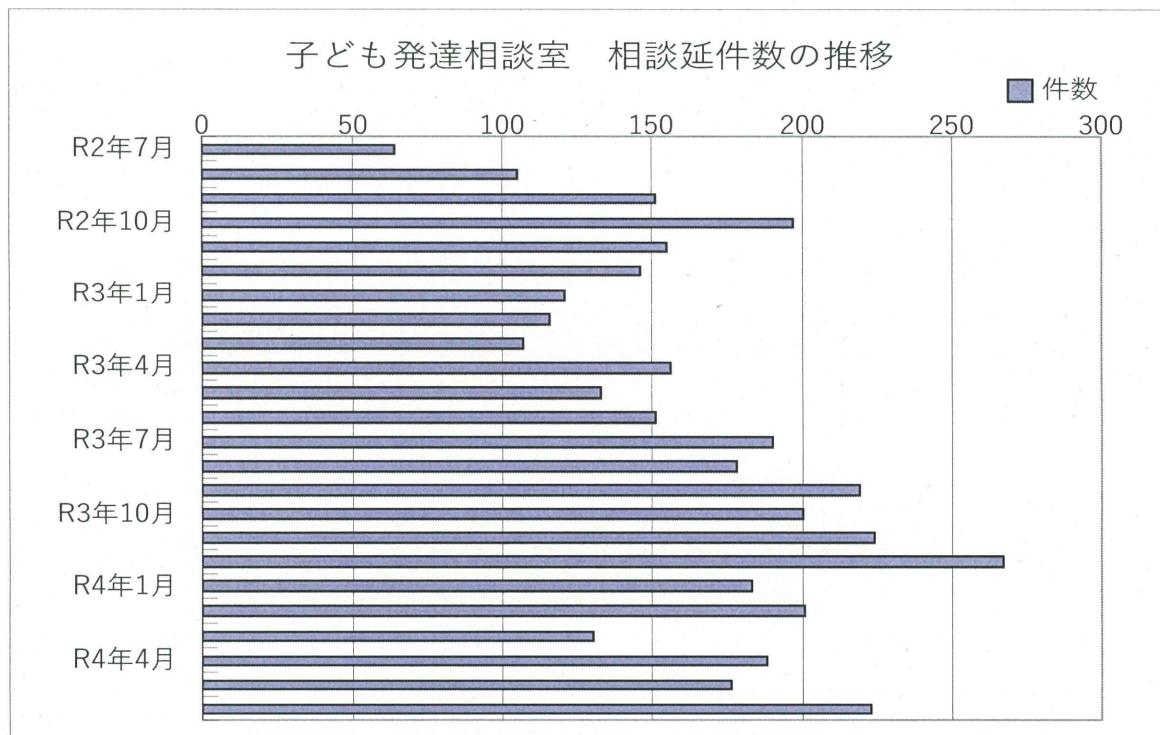
7 これまでの実績

(1) 相談件数

	未就園児	就園児	小学生	中学生	高校生	その他	計
R 2 年度	39件	513件	386件	192件	29件	3 件	1, 162件
R 3 年度	53件	1, 229件	612件	245件	81件	12件	2, 232件
R 4 年度	20件	256件	221件	52件	31件	7 件	587件

* R 2 年度は 7 月～ 3 月までの 9 カ月間

* R 4 年度は 6 月までの 3 カ月間



【傾向】

7 月から 12 月は、就学・進学等に向けて相談件数が増加します。

令和 2 年度の夏秋よりも、令和 3 年度の同時期の方が相談件数が増加しており、相談室が、困っている子どもや家族にとって身近な存在になってきたと考えられます。

(2) 主な相談内容

- ・社会性や対人関係に関するここと
- ・ことばに関するここと
- ・就園就学に関するここと
- ・不登校や登校しぶり
- ・発達検査の希望

(3) 対応内容

- ・子どもの発達を促し、安定して毎日を過ごすためのアドバイス
- ・幼稚園保育所や学校など関係機関との連携
- ・児童発達事業所等の事業所見学同行

(4) 対応方針

発達に不安のある子どもたちは、成長の中で生活や学習、進路などさまざまな課題にぶつかります。相談室での様子や発達検査を通じて、コミュニケーションや対人関係の得意・不得意などの子どもの特性を把握し、その課題を乗り越えていくためにどうすればよいかを保護者の方と一緒に考えています。

(5) 相談者から寄せられた声（意見）

- 幼稚園を卒園し、小学校に入学するという子どもの生活環境が大きく変化する時期に、同じ人に相談することができたので、親の不安を減らすことができ、結果として子どもの精神的な安定につながったと思う
- 発達検査が混み合っており順番を待ったが、子どもの状態に合わせた対応方法を提案してもらえ、日々子どもと接する時に心がけるようにしている
- 悩みを聞いてもらうことで、気持ちが前向きになれた。同じ悩みを持つママ友にこども発達相談室を紹介したいと思う

8 これからに向けて

開設以降、相談件数は増加しており、心理士などの専門職の相談につながるまでの時間が長くなってしまうことが課題となっています。今年度、心理士の相談回数を月2回から月4回へ増やし、体制の強化を図っているところですが、相談件数や内容等を踏まえ、更に関係機関との連携を強化し、支援体制の拡充も含め、必要な人が利用しやすい相談室を目指していきます。

9 相談室の連絡先

電話：0279-25-7274

FAX：0279-25-7284

e-mail：shibuko-soudan@dan.wind.ne.jp

10 その他

渋川市こども発達相談室の設置は、県内で7番目となります。



■問い合わせ先

スポーツ健康部 部長 角田 義孝（内線1150）

担当：健康増進課（電話0279-25-1321）

課長 一場 悅子（内線4600）

母子保健係長 上田 由香（内線4611）